

発見！白井の仕事人 70

質の高くも「モノづくり」

中西製作所



中西製作所

量多品種で作られている製品の間違った生産・配送をなくし、完成以降の品質管理を徹底するため、全ての部品にQRコードを印字し、シリアルナンバー管理を実施することで、どの部品をいつ誰が作ったものかわかるようにしています。

今回は、白井工業団地に工場を構える中西製作所を紹介いたします。

中西製作所は、1951年に東京都板橋区で中西馨さんが個人でプレス加工業を行ったのが始まりです。1983年に本社と工場を白井市に移設しました。

大手の住宅メーカーや家電メーカーなどからの注文を受け、ユニットバスの壁の補強材や衣類乾燥機用置き台の部品などを主に製造しています。

専務の今井良美さんに話を聞きました。

創業時は、自動車用の部品を作っていました。1990年ごろから建築や家電関係の仕事が増えていき、特に乾燥機置き台は、白井工業団地内の企業で加工・溶接・塗装・組み立て・梱包までの工程を一緒に製造し、完成品として納入したこともありました。

「さまざまな取引先から多くを学ばせてもらったことで今の自分たちのものづくりの姿勢につながっている」と語ります。

製品は、午前7時30分までに注文を受けたものは、当日の出荷に間に合うようスピード感を持って作っています。また、少

「品質向上のための新しいシステムも来年以降に導入する予定。大事なのは他には出来ないことをいかにやるかということ。それがなければ生き残っていくことはできない」という今

井さんは今後の展望として、「現在、北総線沿いにある太陽光発電の補強材を少し手掛けています。その技術を生かし同じ光を扱う植物工場向けに今後広げていければ」と話してくれました。

最後に「さまざまな部品をつくり技術を上げてきたが、それはお客さまから頂いた仕事を必死になってやってきた結果。しかし、従業員こそが会社にとって一番大切な存在であり、従業員がづらいものづくりをしてはいけない」とものづくりに対する考え方を教えてくれました。

中西製作所のものづくりへの取り組みに注目です。



工場内の様子

産業振興課商工振興班 内

線3241